



京都部部報



BULLETIN

第1号 / 2014.7 発行

京都部部長主題 「行雲流水」～ Be Y's men ～

京都部部長：畑本 誠 (京都トゥービー)

西日本区理事主題 "To walk together, echoing each other" “響き合い、ともに歩む”

西日本区理事：松本武彦 (大阪西)

国際会長主題 "Talk Less, Do More" “言葉より行動を”

国際会長：Isaac Palathinkal (インド)

アジアエリア会長主題 "Start Future Now" “未来を始めよう、今すぐに”

アジア会長：岡野泰和 (大阪土佐堀)

「期のスタートに当たっての抱負」

第19代京都部部長 畑本 誠
(京都トゥービーワイズメンズクラブ)

1) 活動方針

主題は禅語からとった『行雲流水』～ Be Y's men ～ですが、行雲流水とは自然現象です。人生、順風満帆ばかりなんてありえないと思います。どんなに障害があり、喜怒哀楽様々な出来事の連続の中にあっても、常に心はその一処にとどまらず、執着せず、雲の如く無心にして淡々と、さわやかに生きることだと思います。「行雲流水」とは人生における雨風、嵐どんな苦楽も嫌悪、取捨せず、ありのままに受け入れて人生の肥やしとしていくおらかな心ではないでしょうか。そしてそのおらかな心の中に、全ての面においてワイズメンとしての誇りを持って活動していくことが肝要であると思います。



1. Yサ・ユース事業

- ・ Yサ・ユース事業懇談会、年数回予定 (2014年5月9日 (金) 京都YMCA)
- ・ YMCA 事業をワーク、フェスタ、募金、チャリティ、他行事に分けて体系的に支援する。
- ・ ユース事業を継続し支援する。
- ・ YYフォーラムの充実を図る。
- ・ 京都YMCAが取り組む東日本震災支援活動を継続して支援する。

2. 地域奉仕・環境事業

- ・ 地域奉仕・環境事業懇談会 (2014年7月18日 (金) 京都YMCA)
- ・ 各クラブ単位のCS活動の支援と地域貢献環境問題への取組み、国際協力、ワイズデイ、国際統一事業ロールバックマラリアへの理解を推進。
- ・ 各クラブの地域活動を共有、活動の広がりを推進する。
- ・ 東日本大震災支援を継続する。
- ・ 広報事業と共にワイズの知名度を広げる。(ワイズデイの実施)

3) EMC事業

- ・ EMC勉強会 (2014年6月23日 (月) 京都YMCA)
- ・ EMC懇親会の開催 (2014年7月25日 (金) メルパルク京都)
- ・ 会員増強、特に青年会員の獲得に重点、京都部600名の体制とノンドロップを目指す。会員相互のメンバーシップの向上を目指す。
- ・ 各クラブへ例会の充実を図りゲストを呼びやすい環境を整え推進する。
- ・ 各クラブのEMC活動の情報共有を推進する。

4) ファンド事業

- ・ ファンド事業懇談会 (2014年7月28日 (金) 京都YMCA)
- ・ BF代表を積極的に推薦。ファンド事業の推進を図る。
- ・ BF, EF, JWFの西日本区目標を最低ラインとする。
- ・ 各クラブのオリジナルファンドの情報共有を推進する。

5) 交流事業

- ・ 交流事業懇談会 2014年9月12日 (金) 京都YMCA)
- ・ IBC, DBC交流の積極化 (クラブメンバー単位の交流も)
- ・ IBC, DBC交流の各クラブ間での情報を共有する。
- ・ ソーシャルネットワークを利用し新たな交流を模索する。
- ・ EMC, 広報と連携し部内の交流を推進する。

6) 広報事業

- ・ 広報事業懇談会 (2014年6月26日 (木) 京都YMCA)
- ・ クラブ単位での広報 (クラブ紹介広報、地域奉仕広報) を支援する。
- ・ ワイズ広報事業を部において推進する。
- ・ 京都部ホームページのアクセス向上を図る。
- ・ ソーシャルネットワークを利用する。
- ・ 地域奉仕事業と共にワイズの知名度を広げる。
(ワイズデイの実施)

7) メネット事業

- ・ メネット事業を広報し理解を広げる。
- ・ 京都部メネットアワーを開催する。(2015年1月)
- ・ 区メネット事業への協力をする。
- ・ 東日本大震災災害復興支援を継続する。

役員

期のスタートにあたっての抱負



次期部長 高田敏尚 京都ワイズメンズクラブ

「よく始められた仕事は、半ば終わったようなものである」と言われます。満を持す形で畑本部長期がスタートしました。

主査、キャビネットのみなさんの息もぴったりという感じです。私も次々期といわれていたのが、「次期部長」になりました。あと1年を切ったという不安と焦りでいっぱいです。

7月から部の役員会のメンバーとなりましたので、部の

運営など、いろんなことを学ばせてもらおうと思っています。

クラブがあって部があるので、部があってクラブがあるわけではありません。ワイズメンがいてクラブがあるのと同じです。私たち1人1人がそれぞれの人生観を持っているように、それぞれのワイズ観を持っています。

ただ、そのワイズ観が「YMCAを支える」という点を逸脱しないために個人を超えたクラブが、クラブを超えた部というものがあるのでしょうか。そんなことを考えながら「よく始める」ための始動期間を過ごしています。



直前部長 桂 厚子 京都ウエストワイズメンズクラブ

この1年間皆様に支えていただき、京都部長という大役を無事果たせた事に感謝申し上げます！この1年は私にとって、今までもこれ先も経験できない人生をいただきました。改めてワイズメンズクラブのいろいろな深さや広さや味、あり様の違いを

知ることが出来ました。有難うございました。

そういった事を今期は直前部長として微力ながら畑本部長のもと、京都部の発展のため精一杯努めていきたいと思えます。

やはり三役の支え、そして役員の皆様の結束が1年の畑本期の航海を力強いものにし、又会長を通しクラブのメンバーとの交流がクラブの意思の疎通が出来るものだと思います。

常に情報の共有をしていただき、わかりやすい行動方針がうまくクラブ全体に受け入れてもらう必要があると思います。元気のある京都部にいつも500名を超えるのがいや600名のメンバーを擁する事が願いです。そして畑本部長期が増々ワイズメンズクラブの発展と充実となりますように、役員の皆様にはより深いワイズライフとなりますようにお祈り申し上げます。



監事 船木順司 京都トップスワイズメンズクラブ

京都部19代 畑本部長期が始まりました。主題【行雲流水】雲は水のように自然に流れる、自然の流れに身を任せ！自然体での運営を心掛けようとの思いが伝わってきます。決して奢る事無く柔軟な対応で臨まれる一年間に成る事でしょう。

私は京都部役員とし今期4年目と成り、京都部監事と言う決して似つかわしくないお役目が私の仕事となりました。しかし、畑本部長主題に見習い自然体で臨んで行きたいと思えます。部の役員として3年間培ってきた経験を生かし、京都部運営の一助になれば幸いです。

京都部18クラブにはそれぞれの個性が有り、部のスタンスは難しくもあり楽しくもあります。部役員が一丸と成り運営に当たれば、間違いなく楽しい一年間に成ります。様々な出来事を常にキャビネットや役員の皆様と議論する事で必ず解決します。

そんな一年に成る様に京都部監事としての重責を全うして行きたいと思えます。

畑本部長、キャビネット、役員の皆様が一年間の京都部運営を担って頂く事に心より敬意と感謝を申し上げます。

京都部の皆様一年間よろしくお願いたします。



京都部書記 古田裕和

今期京都部書記を務めさせていただきますトゥービークラブの古田裕和です。よろしくお願ひいたします。書記の役目は部の役員会や評議会の中で議事進行などが主なものだと思いますが、そのほかにも会計、事務局長とキャビネット一丸となっ

て、各クラブが今期活発に色々な活動をしていただくために、またそのための部の運営がスムーズにいくよう、部長と

主査や各クラブ会長をつなぐパイプ役になればと思っています。

それとやはり楽しい1年間にするため、まず自分が楽しむこと、やはり今までと同じようにこの姿勢は変えることなく追及していきたいと思います。そのためにせっかく今期一緒に活動できる主査や各クラブ会長の皆様との出会い、交流もせっかくの機会ですからどんどん楽しもうと思っています。この1年間どうかよろしくお願ひいたします。



京都部会計 小幡 弘

今期、京都部会計を拝命しております京都トゥービークラブの小幡です。

畑本京都部部長のキャビネットとして一年間務めさせていただきます。今まで京都部予算原資の在り方や支出明細等々初めて関わる訳ですが、直

前京都部会計の島田先輩より緻密な引継ぎをして頂き、何とか乗り切る事が出来そうです。

実際には会計の職務だけではなく、秋の役員研修会の準備段階から幾度となく畑本部長を中心にミーティングを重ね、約2年間の月日を京都部の運営に費やす事になりますが、本当にやらなければならない業務の多さに驚かされます。歴代京都部のキャビネットの皆様のご苦勞に脱帽です。

皆様の大切なお金を預かり運用する事の重責を痛感致しますが、ワイズメンズクラブ京都部の発展の為に努力してまいります。宜しくお願ひ致します。



京都部事務局長 伊藤 剛

今期、京都部の事務局長を務めさせていただきます、京都トゥービークラブの伊藤剛です。

畑本部長の下、部長、主査、そして各クラブ会長それぞれの運営が円

滑に進むように、裏方として努めてまいります。

またこの1年も多くの出会いがあると思います。ワイズの輪を一層広げ、自分にとっても有意義な一年にしたいと思います。

一年間、どうぞ宜しくお願ひ致します。

事業主査 期のスタートにあたっての抱負



YMCAサービス・ユース事業主査 中西康晴

主題「YMCAと、歩調を合して ～ユース事業の支援～」

今期、Yサ・ユース事業主査を仰せつかりました。

「YMCAと、歩調を合して・ユース事業の支援」を主題に掲げさせていただきました。

YMCAとの良きパートナーシップの構築のため、またワイズメンズクラブの一層の発展のため、若者のパワーやエ

ネルギーを取り入れていくことが必要と考えます。

次期はアジア大会が京都で開催され、サポートを京都部各クラブで行いますが、ワイズメンと若いリーダーが共に語り合い、お互いを知る絶好の機会であると考えています。京都部のユース支援として何ができるか考えています。皆様のご協力の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



地域奉仕・環境事業主査 田中光一

ワイズ運動・活動の主体は個人であり、その主たる目的は、メンバー同士が影響し合い高まり合うこと、また、そこで得たエネルギーを家族・職場を含めた社会に向けて発散し、その改善に努めることです。そこで得られたメンバーのエネルギーの集まりがクラブの事業として地域奉仕・環境事業として展開されます。ワイズの活動は、クラブが考え、自らの意思であることがすべてであり、それで充分だろうとする所以です。共通の大きな目標に対して、そこへ到達する道筋も早さ

も様々でいいと思います。違いを認め合い、違うことを楽しみませんか？

とはいえ、思いを同じくするクラブが共同で大きな事業に取り組むこともすばらしいことだとも思います。

そこで今期は、クラブ思い思いのワイズデーを提唱いたしました。知り得た有用な情報は極力お伝えいたしますし、部の事業として予算は使いますが、事業活動そのものはクラブの意思とするクラブの事業です。

ご理解お願いいたします。

このようにしてする活動がクラブの自己研鑽にもなるような気がします。



EMC事業主査 牧野篤文

主題「まだ、現状に満足しますか？～起こそう！メンバー増強スパイラル～」

今年度、京都部のEMC事業主査を拝命しました、京都トップスワイズメンズクラブの牧野篤文です。

ここ数年京都部の会員数は、500人前後が続いておりますが、今期京都部の畑本部長は京都部600人体勢を断言されました。今期のスタートが492名ですので、108名の増員が必要になります。これを達成するためには、京都部の一部のクラブだけがメンバー増強しても達成できません。

また、河原正浩西日本区EMC事業主任も主題で、ワイズで描こう未来予想図2014～10年、20年先を見越して～とされており。各クラブの10年先、20年先を考えますと、自ずと30代～40代のメンバーを「今」増強する必要があります。

では、メンバー増強には何が重要なキーワードになるか？

私はワイズメンズクラブにとって最も大切なのは、「メンバー」であると考えております。ワイズメンズクラブはYMCAのサポートを目的に結成されましたが、メンバーが存在しなければサポートできません。故にメンバーが最も大切であり、そのメンバーの「満足度」の向上こそがワイズメンズクラブ発展のキーワードであると考えております。

各クラブのメンバー一人一人の「満足度」を考え、その向上に徹すれば自ずとメンバーは増えていく事になります。なぜならば「メンバー増強スパイラル」が起きるからです。先のEMC勉強会で「メンバー増強スパイラル」について説明させて頂きましたが、京都部の全クラブで、このメンバー増強スパイラルが起これば、600人体勢は簡単に達成され、近い将来京都部1000人体勢も可能であると思います。将来的な発展を見据えてこの一年微力ではございますが、EMC事業主査として頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。



ファンド事業主査 中村隆司

主題「制度改革、今こそ初心に戻り次世代への1歩を！」

この度、畑本部長のもとでファンド事業主査を務めさせていただきます、京都ウェルクラブの中村隆司です。

主査主題は、「制度改革、今こそ初心に戻り次世代への1歩を！」とさせて頂きました。

西日本区では、今期からファンド事業委員会と交流事業委員会を無くし、国際・交流事業委員会が誕生致しました。

そこで事業制度変革1年目と言う事で、初心に戻り次世代を見据えて行く必要があるのではないかと思います、このような主題にさせていただきます。

ただ、京都部では今期も従来通りファンド事業委員会と交流事業委員会を残されるという事でファンド事業主査をさせて頂く事になりましたが、何せ初めての経験なので期待と不安が入り混じった心境でございます。

ただ受諾させて頂いた以上は、部の為、区の為、そしてワイズの為に精一杯力を発揮し、職責を全うさせて頂きたいと思っております。日々勉強し、ファンド事業への理解を得られるよう努力し、皆様に御迷惑をお掛けする事の無いよう務めさせていただきますので、一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。



交流事業主査 笹山直世

主題「制度改革、今こそ初心に戻り次世代への1歩を！」

京都部所属ワイズメンの皆様、こんにちは！今期交流主査を務めさせて頂きます笹山直世（ささやまなおと）と申します。一年間どうぞよろしくお願ひ致します。国際クラブ

であるワイズメンズクラブにおいて、国際交流を満喫しないのは『もったいない！』そう思われませんか？

今期より交流事業とファンド事業が一つになりましたが、交流の英訳“fellowship”は、ファンド事業に含まれるBF (brotherhood) とは隣り合わせの意味合いを持ちます。国内・国外問わず他クラブとのブラザー関係を深めていく

事は、単なる仲良しクラブを越えた正にBrother 関係に成長していきます。それは大きな異文化交流になり、皆様の人生に沢山の彩を添える事となるでしょう。又、交流事業にはYEEP・STEPといった素晴らしいプログラムがあります。これこそ国際交流を満喫して頂くことの出来る素敵な制度ですので、皆様、国際交流を楽しみましょう！楽しまないともったいない！！

京都部各クラブ交流委員長の皆様、一年間宜しくお願ひ致します。頑張って交流事業のサポートをさせて頂きます。ご遠慮なく申し付け下さい。



広報事業主査 倉田正昭

主題「"Global Network beyond the border"国境を越えたグローバルネットワーク」

2010～11年に続き今期も広報主査を担当させて頂くことになりました。

当初 Facebook を広めた所、京都部の登録者が数人だった所、今では200人を越えるようになりました。その後、Facebookを通してワイズに入会された方も出てくるようになりました。Facebookは好き、嫌いもあるでしょうが、ワイズ専用を使うやり方もありますので、ぜひ登録してみてください。

ワイズデーに関しては、部長方針に基づき部からクラブに対して働きかけるのではなく、自発的な動きのあるクラブに対して広報としてバックアップしてゆきたいと考えております。

過去3年間の広報活動は、単年度で終わるのではなく歴代の経験者で構成されたPR委員会を設立しその蓄積を充実させて来ました。HPはリニューアルから始まり、ワイズメンの企業HPに「私達はワイズメンの活動に参加しています」というバナーを貼ってもらい、わかりやすく説明したワイズのウェルカムページに導く広報活動も行っております。メンバー紹介では、勤務先HPをリンクすることで、メンバーを身近に感じ、ワイズメンをよりよく知ってもらう機会となっております。これらは、京都部のウェブサイトをご覧いただければ、ご紹介しておりますので、ぜひご覧ください。



メネット事業主査 国松和子

主題「LOVE & PEACE」

7月1日より今期京都部メネット主査を引き受けさせて頂いております。メネット事業も新たにボタンタッチ、本格的な活動もスタートいたしました。

この一年色々な活動、講演会や懇談会なども予定しております。メネットの立場を踏まえ、スムーズにワイズ活動を応援してあげたいと思っております。

今後の事業活動予定などは随時お知らせをしまいたしますが、なによりもメネットの皆様とお会いできること、また楽しい時間を共有できることをとても楽しみにしております。トゥービークラブにはメネット会と言うものはありません。

ですが、年に何度かはメネット、時にはコメントも集まり

家庭の事や子育ての事、趣味の話など、情報交換をしながら世代を超えて、時には笑いあったり、時には真剣にお話をうかがったりと楽しく有意義な会を開催しております。

クラブではクリスマス例会やファミリー例会など家族ぐるみのお付き合いの中で、メネット、コメント同志は単なる顔見知りというのではなく、親戚のような感覚で再会できることにとってもうれしく感じております。これも主人がワイズメンズクラブに入ってくれてるからかな…？とちょっと感謝です。

そしてこの一年は、トゥービークラブ以外のたくさんのメネットにぜひお会いしたいと思っております。

このように、ここでしかできない「出会い」を大切に、今後も続いていけるような、そして皆様と一緒に楽しく活動をできますよう私自身も頑張っています。

この一年どうぞよろしくお願ひいたします。



京都ワイズメンズクラブ会長 多賀久貴

会長主題「レッツ・ビギン」～明日の為に今、始めよう～

第67代京都クラブ会長を仰せつかりました、多賀久貴と申します。

早いもので私が入会してから3年の月日が流れました。この間に先輩の皆様から色々な事を教わり、吸収

して参りました。まだまだ若輩者で至らぬ点が多々あるかと思いますが、皆様のお力添えを賜わり、精一杯務めてまいります。

歴史ある京都クラブの会長ということで、皆様の注目と責任の重さをひしひしとこの身に感じ日に日に緊張度が増してきております。しかしお役を賜りました以上、持てる力を最大限発揮し、クラブの活性、発展の為に努めてまいり所存でございます。どうぞ皆様宜しくお願い致します。

今期、会長主題と致しまして「レッツ・ビギン」～明日の為に今始めよう～を掲げております。これは前会長が進化させてこられたクラブに良い意味での変化をもたらす、活性させていきたいとの想いです。5年後、10年後のクラブの未来を見据えて、「今」考え、行動を起こす時だと思えます。今期は各委員会の垣根を低くし、メンバー全員で楽し

くワイズライフを楽しめるような事業を展開していくよう予定しております。「やるときにはヤル!」「楽しむ時にはとことん楽しむ」をモットーにメリハリある活動を行って参りたいと思っています。

この楽しいクラブを一人でも多くの方に知って頂き、ご入会頂き、気の合う「仲間」を一人でも多く作りたい!との想いです。その為には、私一人ではどうすることもできません。メンバー全員が心をつにし、力を結集し一致団結してこそ成し遂げられるものだと思います。

毎年メンバー増強にご尽力頂いている事は重々承知しております。その上で大変恐縮ではございますが、今一度、皆様ご自身の周りの方を思い出して頂き、明日の京都クラブ活性の為に一人でも多くの方をご紹介頂きまして、ご入会へとお導き頂ける事を心より願っております。皆様のクラブへの大きな愛情で何卒ご理解頂き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

来年6月の引継ぎ例会では皆様と一緒に「達成感」を味わいながらおいしいお酒を頂けることを楽しみにしております。



福知山ワイズメンズクラブ会長 堀 京子

会長主題「明るく、楽しく、笑顔でワイズへ」楽しいところに人は集まる

私はクラブ入会後まもなく10年になりますが、昨期初めて会長を務めてみて、これまでどんなに他のメンバーにお世話になってきたかをしみじみ感じました。例会が近づくと孤独

やストレスを感じることもあり、例会当日は仕事を早退して家族の夕食を作って出てくるのが精一杯、例会終了後ほっとするのつかのま…というサイクル。でも例会でメンバー7名が食事を共にし、講師のお話をお聞きする、その間にリフレッシュ。力を得ているという実感があり、やっぱりワイズの例会はいいなあ!と…。その繰り返しでまたたくまに1年が過ぎました。

そして6月、西日本区大会に初参加。山口県・岩国市でもたれた第17回西日本区大会で、福知山クラブはなんとYMCAサービス・ユース事業最優秀クラブ賞を受賞しました! 50年にわたる福知山クラブの奉仕を表彰いただい

たものと思います。

光を当てていただいた昨期に感謝しつつ、今期は福知山クラブでも、私自身の入会以来10年ぶりの入会式ができるよう、楽しくやっていきたいです。その願いを込め、今期の会長主題を「明るく、楽しく、笑顔でワイズへ～楽しいところに人は集まる～」といたしました。

入会を誘うにも、冒頭に書いたような「しんどさ」を他の人に味わわせるのかという遠慮があるのは確か。でも「しんどさ」と同じかそれより大きな「喜び」をずっと体験してきていると思います。それにワイズメンズクラブにいれば、京都と、日本中と、そして世界へとつながる喜びもあります。福知山クラブは孤独じゃないです! 今期は、その喜びを伝えていきたいです。

わたしたちの「喜び」「笑顔」が、枯れそうな井戸に注ぐ呼び水となりますように!



京都パレスワイズメンズクラブ会長 平野雅幸

会長主題「あなたの笑顔が見たいから」

我がクラブの特徴として、年齢の層の幅広さがあげられると思います。自分の若いつもりでおりましたが、いつのまにか会歴10年を超えてしまいました。

振り返るとかつて自分が入会した時に、多くの先輩方に温かく迎えられたこと、そしてときには厳しく教えられたことを思い出します。自分は年をとっても、クラブは年をとらず、歴史を重ねていくようにしたいと考えています。

幸いにも有望な若手がメンバーにはおります。そこでなるべく多くの若手メンバーを三役・委員長、副委員長に起用し、これからのクラブ運営に関わることを考えての役員構成を行いました。若いメンバーが、自由にクラブに関与でき、キャリアのあるメンバーが経験を伝えていくような

土壌を作りたいと思っています。

例会で卓話を聞き、奉仕活動を行う（どちらもとても大切なことです）それだけでなくメンバーが主体的にクラブに関与し、互いに刺激を受けられるような環境を作ります。

パレスクラブの44期は例年の行事以外に第26回アジア地域大会（2015年7月31日から8月2日）という大きなチャンスに恵まれました。クラブの垣根を越えてさらに多くのワイズメンと親交を深めるまたとない機会です。多くのメンバーが他のクラブの方とのふれあいの中で、何かを感じ取ってもらえればなと思っています。

期の終わるころには、メンバー皆が『あなたの笑顔が見たいから』という気持ちを持ってワイズに関われるようこの一年全力で組みたいと思います。



京都ウエストワイズメンズクラブ会長 金澤典子

会長主題「Naturally」～原点を見つめ直し自分らしさを～

今期、会長を努めます金澤典子です。1年間宜しくお願い致します。

ウエストクラブに入会し10年が経ちました。スポンサーは無く、たまたまクラブの事を知りウエストク

ラブを紹介され入会する事になりました。

入会当初、何も分からずとまどっていた時に、メンバーの皆様の暖かいフォローで支えられました。体調を崩し休みがちになった時も広義会員を薦めて下さり続けて来れました。クラブは人と人との繋がりがだと思っています。他のすばらしいクラブも沢山ありますが、私にとってはウエストクラブで良かったと心から思っています。

私が今期一番目標としているのは、例会の充実、メンバーとの親睦です。私がゲストとして参加した時、例会がとて

も新鮮で楽しかったのを覚えています。楽しい例会、和気藹々としたメンバー達の雰囲気があれば、ゲスト様も呼びやすく、会員増強にも繋がるのだと思っています。その為にはDR・EMC委員長や委員の皆様と密に相談しながら、進めて行きたいと思っております。

1年間、塚本直前会長の背中を見てきましたが、本当に沢山行事が有ることを知り困惑していました。これ迄、ダンスという特殊な仕事の都合上、参加出来なかった行事も沢山有ります。今期も御迷惑をおかけする事も有ると思いますが、出来る限りメンバーの皆様にも助けて頂いて、多数行事参加出来るよう頑張るつもりでいます。まだまだ新米でわからない事だらけですが、精一杯、会長としての責務を果たしたいと思っています。1年間どうぞ宜しくお願い致します。



京都めいぶるワイズメンズクラブ会長 青木繁幸

会長主題「初心」31年目からのスタート

前期は30周年という大きなイベントを終え、一つの区切りがついたと考えております。

今期は以前から考えていたようにEMC、特にメンバー増強に的を絞って1年を過ごしたいと考えております。

めいぶるクラブはその経過年数からも分かるように2/3以上のメンバーが会長経験者であり、ベテランが多いのです。その分大概の問題は過去の経験から解決できるのです

が、その反面メンバーのテンションが低いところが懸念される場所です。その反動がメンバーがなかなか増えないというか、その意識が低いというところにつながっているように思います。

「初心」…入会した当時のあの高揚感をもう一度！という事で、EMCのM、メンバーシップに力を入れメンバーの意識向上を図りたいと考えております。メンバーの意識が上がればまた新しい仲間を増やそうと考えてくれるのではと思っています。メンバー増強というのはメンバー全員が

危機感をもって行わないとなかなか増えるものではないと考えます。

また、オリエンテーションの充実を図りたいと考えております。めいぶるクラブのオリエンテーションは昔ながらのマニュアルを入会希望者に読んで聞かせるというものです。これでは中々分かりにくいし聞いていても退屈です。画像や動画を使ったオリエンテーション用の資料を作成し

ようと思っております。そして、できれば例会参加の前に、まずオリエンテーションを受けていただきクラブの良さを理解して頂いてから例会に参加して頂くという方法を取りたいと考えております。

因みに増員目標は、EMC委員長曰く10名だそうです。それだけ増えれば西日本区大会でいろんな賞が貰えるんだけどな～。



京都キャピタルワイズメンズクラブ会長 菅原 樫一

会長主題「伝統から、未来を紡ぐ」

私は13年前、京都キャピタルクラブに入会しました。入会后6年頃に、仕事との両立も苦しく、退会しようかと思った事がありました。先輩から「無理をしなくても良いから、とにかく続けることだ」と、温かいお声を頂いたおかげで思いとどまりました。

以来、今日まで、クラブの仲間と共に活動を続けているうちに、ようやく、ワイズメンズクラブの楽しさや喜びを実感できるようになりました。13年前に結ばれたキャピタルクラブとのご縁に感謝し、恩返しさせてもらおうという気持ちで、クラブの為、そして喜びをもっと多くのひとに知ってもらう為、今期、会長を引き受けさせて頂きました。

今年4月に開催されました30周年記念例会で最高に盛り上がった、キャピタルクラブの元気、団結力を未来に向けて持続し、これまでクラブが培ってきた、「思いやりと、寛容と、優しさ」の気持ちを大事にしながら、若い人からベテランまで、それぞれ個性を発揮して行けるよう、会長として微力ながら力を尽して行きたいと思っております。

来年、夏に開催されるアジア地域大会に向けては、我がクラブから、ユースコンボケーション委員長を輩出させて頂いており、クラブ挙げて支援するとともに、京都部の皆様とともに力を合わせて、アジア地域大会を成功させ、ワイズの楽しみ、喜びを、京都部全員で共感できるよう頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



京都プリンスワイズメンズクラブ会長 飯尾 豊

会長主題「明日に向かって一歩ふみだそう」

今期会長を仰せつかりました飯尾豊と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。私、プリンスクラブに入会してまだ2年と8ヶ月、まだまだひよこの私に会長と言う重責を与えていただき、本当に一年間やっていけるかなと不安で一杯でした。でも会長研修会、評議会、各委員会の懇談会に出席していますと不思議と不安が無くなり皆様と楽しくやっていける自信が湧いてきました。

これもワイズメンの良さでしょうか。

さていよいよ新しい期となり、今期の会長主題を「明日に向かって一歩ふみだそう」とさせて頂きました。遠い未来の事を計画するには大変な事と実現が難しいと思いますが、身近な明日であれば、また実現も可能です。一歩ふみだすとは新しい事にチャレンジして行く事です。従来のプリンスクラブの事業や伝統や精神を継承しつつ、さらに発展させて行く事です。おかげさまで我がクラブは経験豊富なワイズ暦20年以上のメンバーと昨年三村会長の下でみっちり経験させて頂いた3年未満のメンバーが融合し

歩ふみだしてくれると信じております。私自身、機関車が客車をぐいぐいと引っ張って行くタイプではなく、新幹線のごとく各車両にモーターがあり一緒に同じ方向へ進めて行く、言い換えればメンバー一人一人の個性を引き出し同じ方向へ持って行くのが私の役目と考えております。

我がプリンスクラブは長い間、サバエキャンプ場のサポートに携わってきました。特に今期はサバエキャンプ場の通年利用を考えて行きたいと思っております。

それにはメンバー以外にプリンスクラブ野外活動アドバイザーとして経験豊富な方に指導を仰ぎどのようにすれば通年利用が可能なのか色々試して行きたいと思っております。まずはこの秋にプリンスクラブが支援しています「マイ・マイキャンプ」をサバエキャンプ場で行う予定です。

最後に今期は京都部よりCSボーリング大会のホストクラブの指名がありました。是非参加者の皆様方が喜んでいただける様な大会にしたいと思っております。

私の心情は「何事も一生懸命」です。まだまだ未経験の分野があると思っておりますが、この一年頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



京都センチュリーワイズメンズクラブ会長 山崎育男

会長主題「Everything is practice」すべては実行の中にある

センチュリークラブ27期、自身2回目の会長職をさせて頂くこととなりました。会長拝命にあたりセンチュリークラブの歴史を確認しました。1987年チャーター式典を京都

ワイズメンズクラブに挙行頂き、多くの皆様から多大なご協力のもと船出をしました経緯を今一度確認しました。そのクラブに14年席を置き、また今回会長職に拝命されたことは大変光栄なことと思っております。が、また責任重大であることも改めて痛感しております。

一昨年には25周年を大槻会長期に迎え、記念例会では他クラブの皆様からも沢山の祝いのお言葉を頂きましたが、はや2年が過ぎました。次は30周年に向け、メンバーを増やそう、若い人を入れようと思う気持ちは全員が持っています。

当然今期方針もメンバー増強です、片山前期会長方針をそのまま引き継ぎ、最低5名の増員をと考えております。会長標語としまして「Everything is Practice」～すべては実行の中にある～、としました。クラブ全員が、人との交流・つながりを積極的に持ち、諦めずにメンバー増強に動こうです。今年2月には上中ワイズが入会されました。センチュリークラブにとっては久しぶりの新メンバーです。今期この上中ワイズをEMC委員長としてお願いし、新風を吹かして頂こうと思っております。7月キックオフ例会で、新たに新メンバーを迎えることが出来ました。本当にいい風が吹いています。30周年の記念例会には、沢山のメンバーで他クラブの皆様をお迎えし、祝いのお言葉を頂けるよう頑張ります。

どうぞ1年間よろしくお願い致します。



京都ウイングワイズメンズクラブ会長 岸本伸也

会長主題「来るべき未来に向けて」

一昨年に25周年記念例会を無事に終えました。ウイング宣言が行われたなかで今期28期を迎えますが今までの歴史、そして来るべき30周年、35周年を見据えて未来へ向けて我がウイングクラブはどうあるべきか、どう導くべきか、その姿を想像しました。エクステンションには今以上のメンバー数が必要です。折角入会したがすぐに退会してしまうのは絶対に避けなければなりません。Yサ、地域奉仕の事業にも積極的に参加を促して行くことも必要です。IBC・DBCとクラブ内同好会交流の継続も大事です。ここ数年出席率が低調なので魅力有る例会も企画しなければなりません。各委員会開催もひとり一人に意見を聞き、役員会決定を知らせるためにも適宜実施しなければならないと考えます。

これらを1年の目標にして以下の取り組みをしていきます。

①メンバー増強

「数は力なり」と申しますが、最近のメンバー数は減少傾向です。予算規模も事業参加もメンバーが多い方が活発な活動が出来ます。EMC委員会と共に交流会を行い多くの

ゲストを呼べる機会を作っていきます。

②多くのメンバーが参加するYサ・地域奉仕事業

ワイズメンズクラブは、YMCAのサポート団体であることを認識して各事業の更なるアピールをして、地域奉仕も含めて出席者を増やしていきます。

③IBC・DBC継続とクラブ内同好会交流の充実

IBCは金浦クラブと毎年キムチ漬け事業を共同で行っています。一昨年からDBCは北見クラブとの交流が再開しております。また、クラブ内の同好会活動も計画的に継続実施していきます。

④例会の充実

近年、出席率が低迷しております。魅力有る例会企画をして全員参加を目指していろいろな取り組みをドライバー委員会を通して実施していきます。

⑤委員会開催重要性の再確認

委員会の運営、役員会決定事項で各メンバーの意見徴収、決定内容の伝達手段においても重要性があります。担当三役も参加してより良い意思疎通をしていきます。

以上、実現に向けてメンバー全員一致団結です。



京都洛中ワイズメンズクラブ会長 室田博行

会長主題「ワイズ愛」人生を愛し、地球を愛する

ワイズメンズクラブに入会した当初、会長という立場に私になるということは想像すら出来ませんでした。

2007年、第20代会長になり、20周年記念例会、記念事業

を皆に助けられ無事終えました。しかし、メンバー数が減り、今期二度目の会長を引き受けることになりました。

私自身アナログ人間ですのでメンバーの皆さんには迷惑を掛けていますが、一度目の会長になった頃を振り返り、その経験を活かし、今期の事業を最大限の努力でメンバーの

不安を少しでも取り払い、希望の持てるクラブにしていきたいと思います。

クラブも20数年の歴史を重ねると例会、ワーク等を行う前に結果が見えてくるが多々ありますが、「常にプラス思考で前向きに」をモットーに、一工夫することで例年とは一味違う例会やワークが出来るよう取り組んでいこうとの思いで一年間を頑張りたいと思います。そうすることによって私自身にも明るい未来が見えてくるのではないかと考えています。特に今期は地域奉仕事業に力を入れ、「今何が出来るのか」を考えつつ、積極的な活動を一年間続けて

いきたいと思います。洛中クラブが最も力を注いでいる児童養護施設つばさ園へのワークではつばさ園と話し合いを進め、松尾橋で行った花火大会は今期園児の参加人数が大幅に増え、サバエキャンプ場でのデーキャンプではカヌー、水遊び、バーベキュー、スイカ割り等を行い、例年以上にスムーズにプログラムが行われ、笑顔の園児たちを見送ることができました。

最後になりますが、メンバー増強にも真剣に取り組みたいと思います。



京都エイブルワイズメンズクラブ会長 砂地一廣

会長主題「さあ！新しいステージへ」心機一転

2014年2月に京都YMCAが創立125周年を迎えました。その100周年にチャーターした京都エイブルクラブは今期25周年を迎えます。

京都キャピタルクラブのスポンサーにより30名の設立メンバーでスタートとなりました。

「Be Able To …」を胸に可能性にチャレンジする思いはますます熱くなるばかりです。この間、多くのメンバーと出会い、別れ、青少年との出会いと成長を、また、障がいのある方々と、その人たちをサポートされる多くの人々との出会いがありました。そしてこれから、30年、40年、50年とクラブのビジョンを再構築する年だと思っています。今期の活動は25年をふまえた中から、①例会の充実と新たな会員との親睦をすすめます。②新メンバーを迎え、世代交代のすすめとクラブ財政の改善をすすめます。③京都YMCA125周年事業への参加、協力をすすめます。と、選挙

の公約みたいな事をいっていますが、継続事業は今年も続きます。それらの事業に新たなメンバーを誘い合い、若いメンバー候補も含めて親睦を広げてゆきたいと思っています。

今年はメンバーの推薦状とクラブのパンフレットをセットに複数メンバーで11月のワイズデーまでEMC活動を継続的に取り組みたいと思います。前半期はワイズメンズクラブが楽しめるプログラムがたくさんあります。その楽しさや感動を多くの人におもてなしたいと思っています。富士クラブとのDBCの交流も実現したいと思っています。

韓国太田市の中都クラブとの交流も25周年記念例会が行われる2015年5月16日(土)に予定されており楽しみにしております。上澤25周年実行委員長のもと記念例会にたくさんご参加いただけるようPTが盛り上がり中です。当日、お会いできます事楽しみに致しております。



京都グローバルワイズメンズクラブ会長 橋本達士

会長主題「思いやりの心を持って、共に楽しみ行動しよう！」

入会して11年、京都グローバルワイズメンズクラブの22期の会長をさせていただき事となりました。

今期がスタートしてまだ1ヶ月ではありますが、会長研修会、各事業懇談会、評議会などに参加し、京都部役員の皆様や他クラブの会長から教わる事が多く、日々勉強させていただいております。また、会長と言う立場で参加させていただき京都部やYMCAの事業には新しい発見も多く新鮮でもあります。

さて今期の主題は「Peace begins with a smile. 平和は笑顔から始まる。」とさせていただきます。ポキャブラリーが乏しく3ヶ月ほど悩みましたが思い浮かばず、私の尊敬するマザーテレサの言葉から引用させていただきました。楽しい例会、楽しい行事、メンバーの皆さんが楽しく活動し

ていただき、常に笑顔の絶えないクラブにしていきたくて思っております。

そして楽しいクラブライフを送っていたら、いつの間にか社会貢献、奉仕活動が出来ていた。それが皆の幸せに少しでもお役に立てればというのが私の理想です。一人一人の力は微力でも、その小さな力を合わせ大きな力となし、素晴らしい事を成し遂げる事ができると信じております。今期には25周年の準備も本格的に始まり、また来年のアジア大会のマーシャル委員長選出クラブとしての準備も必要になってきます。

忙しい一年となりそうですが、諸先輩方が築きあげてきた京都グローバルワイズメンズクラブが、25周年、30周年とさらなる発展を遂げた形で迎えられるように若輩者ではございますが、精一杯務めさせていただきます。京都部の皆様どうぞ一年間よろしくお願い致します。



京都みやびワイズメンズクラブ会長 武本 聡

会長主題「因果応報」自分の信念に基づいて行動する

今期の会長主題にもありますように、因果応報（ポジティブ因果応報）を思いながら一年間会長として過ごして行きたいと思っています。直前会長の故石田ワイズの後押しにより

今回三年ぶりの2回目の会長という事になったのですが、当初今期会長に決まった時にはほとほといやげがさしていたのです。

しかし、今は何とかマイナス思考をプラス思考に変えるように自分の中で色々考えて、勝ってに「いい事したら、いい事が返って来るねん」と一年間心の中で唱えるつもりです。多分そうすれば色々なことにも耐えられますし、また未来を見ることもできると思います。

今期のみやびクラブを再生への第一歩として、うまく軌道に乗せられたらいいのと思っています。



京都トップスワイズメンズクラブ会長 舞田智之

会長主題「新しい毎日を」Step by step 一歩ずつ

今期京都トップスクラブの会長をさせて頂く舞田智之と申します。

今期トップスクラブの目標は、たくさんありますが、一つ目は20周年記念事業の成功です。

御存知の方もいらっしゃると思いますが、今期21期目を迎え、20周年の記念事業を行う事を決定しております。

2015年4月5日（日）に周年例会の開催も決定しており、皆様にトップスらしい記念事業をお披露目するべく日々三役、実行委員会で議論を重ねております。皆様楽しみにしてください。

2つ目は毎年の目標ですが、メンバー増強です。近年トップスでは、新しいメンバーが増えております。

新しく入会頂いたメンバーさんがまた新しいメンバーを

連れてきて下さり、その新メンバーをベテランの方がフォローして下さる形で仲間がどんどん増えております、今期もその流れを継続しEMC委員長の掲げた30名増員という大きな目標に向かって邁進中です。

今期トップスでは役員に入会間もない方を多数起用しております。未熟な点も多々ありますが、新たなアイデアや今まで行われなかった、事業への取り組み方に、委員会や役員会が大変盛り上がっています。

若手の委員長に引っ張られ、今まで委員会やオプションに参加されなかったメンバーさんが、多数参加され、先日のリトセンやサバエのワークも大変盛り上がりしました。

この流れを継続して今期一年間頑張っていきたいと思っております。そして微力ながら京都部のお力になればと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



京都トゥービーワイズメンズクラブ会長 水野充弘

会長主題「艶と色気」Don't stop the Party

今期トゥービークラブの会長を務めさせていただく水野充弘です。

1年以上前に今期の会長をやるように言われてから早いもので期が始まってしまいました。

引継ぎ式を終え、総会を向かえやっと思感が沸いてきた今日この頃です。

前期の吉田会長が、多くの新しい仲間（メンバー）を迎えてくれました。従来のメンバーに加え新しいメンバーの方々もトゥービーに入ってさらに魅力ある人間になってもらうための「艶と色気」です。

やらされているのとやるのでは気持ちが大違い、自らが行動すること、メンバーお互いが刺激しあう環境があつてこそ内面からの色気に繋がるはずです。

メンバーがクラブ活動を通じ、「あの人、最近艶々しては

る。」「以前より魅力的になったね。」といわれるようでないといけないのでは…。今年は、部会のホストクラブでもあります。他のクラブからもそうってもらえるようなクラブ作りができれば本望です。

トゥービーという縁で知り合った仲間たち、お互い刺激しあい外見も内面からも「艶と色気」を感じられるようなメンバーになることでもっと仲間を増やしていけるはずですよ。

クラブの活動は、色々あります。従来の継承も大切なことですが、今年は少し工夫してちょっと変えてみようじゃありませんか。

そうすることで今まで見えてなかったものが見えるなずです。垢抜けた人になって垢抜けたクラブにしましょう。

メンバーみんなが艶々している1年後が楽しみです。



京都東稜ワイズメンズクラブ会長 佐藤私子

会長主題「つなぐ」出かけよう、出会いとつながりの場所

今期の会長主題を『つなぐ』とさせていただきます。

東稜クラブも10周年と節目を迎え、新たな1年となるよう又東稜クラブを築き続けてきた思いを『つなぐ』という意味があり、メンバーの心が一つ一つ繋がり、新たなメンバーが足される事により強固な組織となることを望みます。

副題として、皆で作ってきた東稜クラブなのでイベントや例会で顔を見て他愛のないことで笑い、楽しみたいという思いでつけました。

未来に向けてこれまでのクラブには無かった試みにも果敢にチャレンジし、東稜クラブらしさを大切に5年後、10年後を意識した取り組みが出来たらと考えています。

たった一年では何も出来ないと思います。しかし、これまで積み上げられてきたクラブの歩みを継続する。これからのクラブの第一歩と考え、与えられたこの任期中精一杯、出来る事を一つ一つ、メンバーの力・家族の力を借りて実行してゆくつもりです。

皆様の大きな支えにより、次期に繋がる一年にしたいと考えております。どうか皆様のご協力とお力添えを心よりお願い申し上げます。



京都ウェルワイズメンズクラブ会長 松田博一

会長主題「歩みを止めるな」諦めないカメと居眠りしないウサギ

ついこの間、次のようなお話を耳にしました。

「皆さん、ウサギとカメのお話をご存知だと思います。ウサギとカメが駆けっこをして、ウサギが昼寝をし

ている間に、カメが勝つというお話です。あのお話、普通はウサギが勝つに決まっている話です。ウサギが昼寝をするなどという偶然が、現実にはそうそう起こるはずはありません。そもそもの失敗は、カメがウサギに、駆けっこの勝負を挑んだことです。駆けっこでは、カメはウサギに勝てません。負けると分かっている勝負をすることは無いのです。

自分で何が得意なのか分かっていないといけません。カメがウサギに勝負を挑むなら、そう、水泳ですよ。」

というお話でした。面白いお話しではありますが、私は素直になるほどとは思いませんでした。だって、ウサギも同じように考えたら、水泳の勝負は受けてくれないじゃな

いですか。

世の中、自分に都合のいいことばかりではありません。時には負けると分かっている勝負、意地でも受けなければならないこともあります。「そもそも、自分はカメなのか、ウサギなのか？」それなら、やること何でも得意なことにしてしましましょう。

以上、取り留めのないことを書いてしまいましたが、私たちウエルクラブは、メンバーそれぞれが自分の得意なことを持ち寄って、足らないところは認め合い補い合って、カメのようにゆっくりとした歩みではありますが、ウサギのように居眠りをしている暇はないので、ぼちぼちでも前に進んで行きたいと思っています。

私たちウエルクラブは、「諦めないカメと居眠りしないウサギ」の集まりでありたいと思います。皆さんどうぞよろしくお願いします。



京都ZEROワイズメンズクラブ会長 河村栄二

会長主題「和の心を持って…」一人一人の意見を尊重し思いやりと愛情あふれるクラブ!!

人それぞれが感じる喜びや楽しみ方はいろいろあると思いますが、ワイズメンズクラブに集まる皆が共に語り合い、建設的な意見を出し合って、メンバー其々の持つ能力を結集しな

がら心から楽しめるクラブ運営を進めて行きたいと思っています。

ZEROクラブは「一人一人の意見を尊重し、思いやりと愛情あふれるクラブ」であり続けるためにも焦らず一歩ずつ前進していきたいとおもっています。

第18期 京都部決算

2013.07.01～2014.06.30

収入の部

単位:円

科 目	第17期決算	第18期予算額	第18期決算額	備 考
部費	1,642,200	1,611,600	1,625,200	前期474人・後期482人(2/28現在)
部活動援助金1	100,000	100,000	100,000	西日本区より部一律
部活動援助金2	96,200	94,800	95,600	西日本区より 部メンバー一人当たり¥200×478(メン474+メン4)
西日本区ファンド収益	0	0	0	
利息	93	0	173	
単年度収入小計	1,838,493	1,806,400	1,820,973	
前期繰越金	605,390	781,191	781,191	
西日本区支援金	42,500		94,000	メネット事業 ¥94,000
合計	2,486,383	2,587,591	2,696,164	

支出の部

単位:円

科 目	第17期決算	第18期予算額	第18期決算額	備 考
主査・三役活動費	140,000	140,000	140,000	主査活動費@¥20,000×7事業
部事業費	447,203	342,000	362,607	西日本区メネット国内プロジェクト支援金94,000円執行含む
会議費	103,780	150,000	171,408	会議会場費
印刷費	186,588	184,000	138,160	部報・会議資料等
部会補助費	498,000	492,000	492,000	@¥1,000×492人(連絡主事含む)
研修費	257,000	238,000	253,000	研修会登録費(10月・3月)
通信費	42,012	42,300	43,658	振込手数料・郵便・電話・部ホームページ維持費
交通費補助費	0	49,600	9,600	
事務費	0	30,000	15,905	
慶弔費	30,609	20,000	0	
公式ビジター受入費	0	100,000	0	
単年度支出小計	1,705,192	1,787,900	1,626,338	
次期繰越金	781,191	799,691	1,069,826	
合計	2,486,383	2,587,591	2,696,164	

特別会計収入の部

単位:円

科 目	第17期決算	18期予算額	第18期決算額	備 考
前期繰越金	50,958	250,958	250,958	
GCS・YC	200,000	0	285,000	9クラブより支援金として
合計	250,958	250,958	535,958	

特別会計支出の部

単位:円

科 目	第17期決算	18期予算額	第18期決算額	備 考
ユース支援金	0	0	200,000	GCS支援金としてYMCAへ
繰越金	250,958	250,958	335,958	
合計	250,958	250,958	535,958	

GCS:グローバルコミュニティースタディーツアー(リーダー海外研修)

YC:ユースコンボケーション

STEP:ステップ(短期子弟交換制度)

以上の通りご報告申し上げます。

2014年 6月 30日 第18期(2013年～2014年度) 京都部会計 島田 博司 

上記報告書に基づき、監査を実施しましたところ、適正に処理されていたことをご報告申し上げます。

2014年 6月 30日 第18期(2013年～2014年度) 京都部監事前 登 

第18期 京都部決算 支出明細

2013.07.01～2014.06.30

単位:円

科目	細目	18期修正予算額	18期執行額	備考
主査活動費	Yサ・ユース事業	20,000	20,000	各事業・三役活動、運営費・資料作成・通信等
	EMC事業	20,000	20,000	
	地域奉仕事業	20,000	20,000	
	ファンド事業	20,000	20,000	
	交流事業	20,000	20,000	
	広報事業	20,000	20,000	
	メネット事業	20,000	20,000	
三役活動費		0	0	
小計		140,000	140,000	
部事業費	YYYフォーラム	0	0	
	CSチャリティーボーリング	40,000	40,000	京都キャピタルクラブ(2/6)
	事業懇談会・委員会	72,000	48,607	各7事業+PR委員会
	国際協力募金支援	0	0	
	ワイズデ-事業	100,000	100,000	
	全国リーダー研修会	30,000	0	予備費
	合同メネット会関連	80,000	174,000	西日本区メネット国内プロジェクト支援金94,000円執行含む(8/25)
	予備費	20,000	0	
小計		342,000	362,607	
会議費	三役会・役員会・次期役員会・評議会	150,000	171,408	三条YMCA教室・マナホール・ハートンホテル京都他
小計		150,000	171,408	
印刷費	部報	130,000	73,500	印刷1報(4/10)+ホームページ2報
	会議資料	54,000	64,660	評議会・役員会・三役会資料作成
小計		184,000	138,160	
部会補助費	京都部部会補助	492,000	492,000	@1000×492人(連絡主事含む)
研修費	部長	17,000	17,000	10月次期役員研修会(10/7)
	次期部長	34,000	33,000	10月次期役員研修会:17,000円(10/7) 3月次期会長主査研修会:16,000円(2/23)
	次期主査	85,000	104,000	3月次期会長主査研修会(7事業×¥16,000)1名宿泊なし(2/23)
	次期三役	102,000	99,000	10・3月次期役員研修会3名(10月:17,000×3名+3月:16,000×3名)(10/7、2/23)
小計		238,000	253,000	
通信費	郵便・電話・振込手数料等	10,000	10,718	切手・メール便費用・振込手数料
	部ホームページ関係	32,300	32,940	24,000円(サーバー料金12ヶ月分)+6,500円(ドメイン年間維持費用)×1.08=32,940円(4/3)
小計		42,300	43,658	
交通費補助費	西日本区事業主任交通費	49,600	9,600	ファンド親睦会主任交通費補助費(7/5)
事務費	事務備品	30,000	15,905	封筒・資料ファイル他
慶弔費	慶弔費	20,000	0	
公式ビジター受入費		100,000	0	
支出合計		1,787,900	1,626,338	

特別会計支出の部

単位:円

科目	細目	18期修正予算額	18期決算額	備考
ユース支援支出予備費			200,000	
予備費		250,958	335,958	
合計		250,958	535,958	

第19期 京都部予算

2014.07.01～2015.06.30

収入の部

単位:円

科 目	第17期決算額	第18期決算額	第19期予算額	備 考
部費	1,642,200	1,625,200	1,615,000	475人(連絡主事免除)で算出(@¥3,400) ※19期前期半年報より
部活動援助金1	100,000	100,000	100,000	西日本区より部一律
部活動援助金2	96,200	95,600	95,800	西日本区よりメンバー一人当たり¥200×479(特別ネット4名含む)
西日本区ファンド収益	0	0	0	
利息	93	173	0	
単年度収入小計	1,838,493	1,820,973	1,810,800	
前期繰越金	605,390	781,191	1,069,826	
西日本区支援金	42,500	94,000		
合計	2,486,383	2,696,164	2,880,626	

支出の部

単位:円

科 目	第17期決算額	第18期決算額	第19期予算額	備 考
主査・三役活動費	140,000	140,000	140,000	主査活動費@ ¥20,000×7事業
部事業費	447,203	362,607	680,000	
会議費	103,780	171,408	80,000	会議会場費
印刷費	186,588	138,160	170,000	部報・会議資料等
部会補助費	498,000	492,000	492,000	@ ¥1,000×492人(連絡主事含む)
研修費	257,000	253,000	261,000	研修会登録費(10.3月)
通信費	42,012	43,658	50,000	郵便・電話・部ホームページ維持費
交通費補助費	0	9,600	30,000	
事務費	0	15,905	20,000	
慶弔費	30,609	0	20,000	
公式ビジター受入費	0	0	50,000	
単年度支出小計	1,705,192	1,626,338	1,993,000	
次期繰越金	781,191	1,069,826	887,626	
合計	2,486,383	2,696,164	2,880,626	

特別会計収入の部

単位:円

科 目	第17期決算額	第18期決算額	第19期予算額	備 考
前期繰越金	50,958	250,958	335,958	
在京クラブ支援金		285,000	400,000	
一般会計より振替	200,000			
合計	250,958	535,958	735,958	

備考 第17期在京クラブ支援金は京都部特別会計収入から除外

特別会計支出の部

単位:円

科 目	第17期決算額	第18期決算額	第19期予算額	備 考
GCS支援金	0	200,000	200,000	グローバルコミュニティステイティア
YC支援金			200,000	ユースコンボケーション
予備費	250,958	335,958	335,958	STEP等
合計	250,958	535,958	735,958	

備考 第17期ユース支援金は在京クラブ支援金より拠出の為、京都部特別会計支出から除外

第19期 京都部予算(支出明細)

2014.07.01～2015.06.30

単位:円

科 目	細 目	19期予算額	備 考
主査活動費	Yサ・ユース事業	20,000	各事業・三役活動、運営費・資料作成・通信等
	EMC事業	20,000	
	地域奉仕事業	20,000	
	ファンド事業	20,000	
	交流事業	20,000	
	広報事業	20,000	
	メネット事業	20,000	
三役活動費		0	
小計		140,000	
部事業費	YYYフォーラム	0	西日本区より補助が有る為
	CSチャリティーボーリング	40,000	京都プリンスクラブ
	事業懇談会・委員会	72,000	各事業¥3,000×2回×7事業+PR委員会¥3,000×10回
	国際協力募金支援	0	
	ワイズデ-事業	300,000	
	全国リーダー研修会	0	
	合同メネット会関連	120,000	
	広報事業	60,000	
	予備費	88,000	
小計		680,000	
会議費	三役会・役員会・次期役員会・評議会	80,000	三条YMCA教室・マナホール他
小計		80,000	
印刷費	部報	120,000	印刷1報+ホームページ2報
	会議資料	50,000	評議会・役員会・三役会資料作成
小計		170,000	
部会補助費	京都部部会補助	492,000	@1000×492人(連絡主事含む)
研修費	部長	17,000	10月次期役員研修会
	次期部長	33,000	10月次期役員研修会 3月次期会長主査研修会
	次期主査	112,000	3月次期会長主査研修会(7事業×¥16000)
	次期三役	99,000	10・3月次期役員研修会3名(17,000+16000)×3
小計		261,000	
通信費	郵便・電話・振込手数料等	10,000	
	部ホームページ関係	40,000	(現HP費用; ¥6,822+¥23,940×1.05=¥32,300)
小計		50,000	
交通費補助費	西日本区事業主任交通費	30,000	岡山～京都・広島～京都・熊本～京都:往復自由席特急料金×0.7 大阪は除外
事務費	事務備品	20,000	
慶弔費	慶弔費	20,000	
公式ビジター受入費		50,000	
支出合計		1,993,000	

特別会計支出の部

単位:円

科 目	細 目	19期予算額	備 考
ユ-ス支援支出	GCS・YC	400,000	
予備費	STEP等	250,958	
合計		650,958	

■ 2014年度部長公式訪問予定一覧・随行者予定

クラブ名	例会内容	日程	会場	随行者(予定)
京都		9月9日(火)	ホテル日航プリンセス京都	中村・牧野
福知山		10月14日(火)	福知山YMCA会館	中西・笹山
京都パレス		8月27日(水)	京都ブライトンホテル	牧野・中村
京都ウエスト		10月23日(木)	京都ロイヤルホテル&スパ	倉田・国松
京都めいぶる		9月22日(月)	ウエスティン都ホテル	牧野・田中
京都キャピタル		7月15日(火)	ウエスティン都ホテル	倉田・田中
京都プリンス	ウェル合同	8月6日(水)	グランドプリンスホテル	笹山・国松
京都センチュリー		1月15日(木)	ハートンホテル京都	笹山・中西
京都ウイング		8月7日(木)	ホテル日航プリンセス京都	国松・田中
京都洛中	みやび合同	9月25日(木)	ANAクラウンプラザホテル京都	倉田・中村
京都エイブル	東稜合同	10月28日(火)	パルティール京都	倉田・中西
京都グローバル		8月20日(水)	リーガロイヤルH	牧野・中西
京都みやび	洛中合同	9月25日(木)	ANAクラウンプラザホテル京都	倉田・中村
京都トップス		9月10日(水)	ウエスティン都H	国松・笹山
京都トゥービー		11月26日(水)	ANAクラウンプラザホテル京都	牧野・田中
京都東稜	エイブル合同	10月28日(火)	パルティール京都	倉田・中西
京都ウェル	プリンス合同	8月6日(水)	グランドプリンスホテル	笹山・国松
京都ZERO		8月28日(木)	ホテル日航プリンセス京都	牧野・中村